

Kashimura

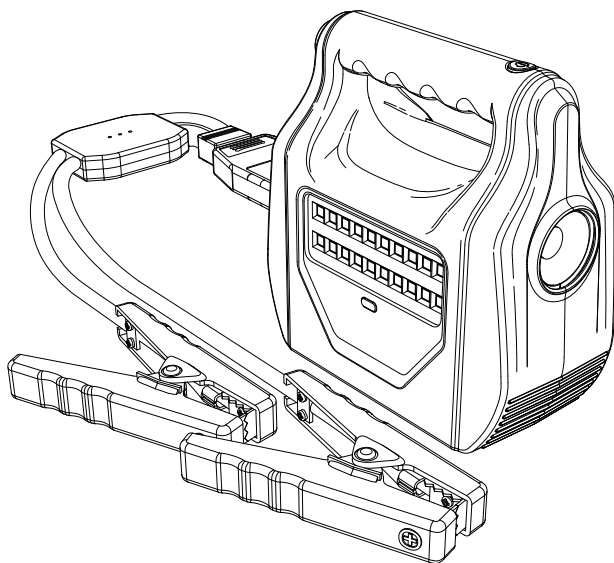
KD-161 ジャンプスターター 30000mAh

保管用

保証書付

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管してください。



目次

安全上のご注意（[警告]と[注意]）	1～3
各部の名称	4
ご使用になる前に	5
本体を充電する場合	5
ジャンプスタートを行う場合	6～7
ジャンプスタートケーブルの取り外し	8
保護機能について	8
DC 出力ソケットを使用する場合	9
バックアップケーブルを使用する場合	10
LED ハンディライトを使用する場合	11
LED ワークライトを使用する場合	11
USB 出力端子を使用する場合	12
ご質問について（Q&A）	12
故障かな？と思ったら	13
製品仕様	13
保証とアフターサービス	14

株式会社 **カシムラ**

安全上のご注意

必ずお守りください

※ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。



警告

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

- 本製品を路上で使用する場合は、道路交通法など各種法令・条例にしたがって使用してください。
- 本製品をお買い上げ後使用時に、万が一異音・発熱・異臭・そのほか異常がある時はご使用をおやめください。異常がある状態のままでご使用になった場合、発火・爆発の原因になるおそれがあります。
- 本体充電用ケーブルを無理に曲げたり、上に物を乗せたりしないでください。コードが破損して感電・発熱・発火するおそれがあります。
- 本製品や付属品について、分解・改造は絶対に行わないでください。本製品の誤った使用方法、分解、改造をしてのご使用等による事故・故障・破損等につきまして当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品を取扱説明書の記載以外の方法で使用しないでください。
- エンジン始動作業は最低 2 人以上の人数で行ってください。
- 本製品および付属品を落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 濡れた手で製品本体または端子部分、コネクター部分を触ったり、エンジン始動作業、充電作業等は行わないでください。感電やショートの原因になります。
- エンジン始動作業時は本製品およびケーブル類などの部品がエンジンルームに落下しないように注意してください。
- 車載バッテリー端子接続などエンジン始動作業時は、感電や火傷・怪我を防ぐために手袋などを着用し、安全に適した服装で作業を行ってください。
- ジャンプスタートケーブルのプラス端子クリップ（赤）とマイナス端子クリップ（黒）同士の接続（ショート）や、車載バッテリーへの逆接続および車両との接触を行わないでください。
- 車載バッテリーが接続されていない車両で、本製品を車両に対して直接接続した状態でのエンジン始動は行わないでください。本製品は車両バッテリーの応急補助製品であり、車載バッテリーの代わりとしては使用できません。
- 本製品内部や、本製品のジャンプスタートケーブル接続口、USB 出力端子、AC 充電器・DC 充電器の金属部分や充電入力端子プラグ、DC 出力ソケット、バックアップケーブルの金属部分などを、濡れた指や金属のピンで触れたり、ゴミ・ほこり・異物等を付着・接触させないでください。また、すべての出力・通電部分のプラス端子とマイナス端子を金属等で接続したり指で触れたりしないでください。感電やショートの原因となります。
- 本製品は防滴・防水加工されていませんので濡らさないでください。万が一濡れた場合はただちに使用をやめてください。
- 本製品は家庭用機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、高い信頼性を要求されるシステムには使用しないでください。
- 本製品に対してや本製品の近くで、エアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。
- ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や、引火や爆発のおそれがある場所、有機溶剤のある場所、引火性ガスの発生するような場所での使用や保管はしないでください。
- 本製品を火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 風呂場やシャワー室、プールや海など水没の危険がある場所では使用しないでください。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や、高圧容器に入れないでください。
- 走行中に本製品の操作を行わないでください。
- 不測の事態を避けるためにも、本製品使用中は、本製品や車両から離れないでください。
- 本製品使用前に車両のサイドブレーキを引く / ギアをパーキングまたはニュートラルに入れる等、誤って車両が動き出さないよう安全を確保してください。
- 本製品をご使用の際は、水平で安定した場所に置いてご使用・充電を行ってください。倒れた状態でご使用・充電は行わないでください。
- 本製品をご使用の際は、ファンベルト等にケーブルが巻き込まれないように、十分注意をしてください。
- 車載バッテリーが極度に劣化または過放電している場合、または故障バッテリーの場合は、ジャンプスタートをしないでください。
- 走行中の携帯電話機のご使用は法律で禁止されています。通話する場合は安全な場所に移動し、停車してから携帯電話機の操作を行ってください。また、本製品を走行中に操作しないでください。
- 本製品を接続した状態で車・バイクを走行させないでください。
- 本製品を故障したまま使用しないでください。また、各ケーブル皮膜が破れた状態では使用・充電はしないでください。
- 製品本体とジャンプスタートケーブルを接続したまま保管しないでください。



警告

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

下記内容は、「リチウムイオン充電電池の取り扱い」を示しています。

本製品はリチウムイオン充電電池を内蔵しています。充電電池は、有機溶媒などの可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂・発火・発煙のおそれがあります。また、性能低下、故障の原因となります。下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本製品の充電電池の交換はできません。お客様ご自身による交換は危険ですから絶対におやめください。
- 炎天下や火気のそばでのご使用はしないでください。
- 振動や衝撃を与えたり、投げつけたり落としたりしないでください。
- 充電の際に、目安となる充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電電池の液漏れ、発熱、発煙、破裂など、発火の原因になるおそれがあります。
- 本製品への充電は必ず付属の充電器を使用してください。
- 満充電の状態ですらに充電を行わないでください。
- AC 充電器は指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。
- 屋外での充電は行わないでください。特に夏場の炎天下時や冬場の寒冷時などは絶対におやめください。
- 充電電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは、ただちに使用をやめて火気から遠ざけてください。液漏れした液体に引火し、発火、破裂の原因となります。
- 万が一、本製品が発火した場合は消火器を使って消化を行ってください。水をかけると感電の原因となります。
- 充電電池の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に障害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また目や口に入った場合、皮膚に付着した場合は、洗浄後ただちに医師の診断を受けてください。
- ご使用中や充電の際に本製品が膨らんだり、すぐに熱くなる場合は使用を中止してください。
- リチウムイオン電池は一般ごみで処分することはできません。処分の際は、市区町村の区分にしたがってください。または、分解等せずリサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル回収を行ってください。



注意

下記については、「人が障害を負う可能性が想定される場合や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

下記は、「使用上の注意」を示しています。

- 充電作業およびエンジン始動は、作業者の責任で実施してください。
- 本製品は、すべてのバッテリーの充電もしくはエンジン始動を保証するものではありません。
- 対応車種であっても、車種や車両の状態・仕様、環境、使用状況によってはジャンプスタートができない場合があります。
- クランクイング電流（※）の大きな車両、単気筒エンジン／2気筒エンジン／ロングストロークエンジン／高圧縮エンジン、ターボチャージャー装着車、スーパーチャージャー装着車、4輪駆動車、寒冷地仕様車等や、大容量バッテリーを使用している大型車両等、車両バッテリーのコンディションなどにより、製品仕様に記載した条件を満たした車両でもジャンプスタートができない場合があります。（※クランクイング電流：エンジンを始動させるセルモーターを動かす為に必要な電流値）
- スマートフォンや電子機器、USB 機器によっては充電や電源供給できない場合もあります。
- 充電する機器のバックライト照明を点灯した状態で充電したり、アプリケーションを起動した状態で充電した場合、充電時間が長くなったり充電完了しない場合があります。その場合、バックライトは OFF にし、アプリケーションは終了させてから充電してください。
- 充電する機器によっては本製品で充電しながら音楽再生できない場合があります。
- 充電する機器の充電中に長時間の通話やアプリケーションの使用等を行うと電池パックの劣化や寿命を早める原因になります。また熱くなった機器に長時間触れると肌が赤くなったり、かぶれ等を引き起こす場合がありますのでご注意ください。
- 充電する機器によっては、充電異常警告のマーク「！」やメッセージが出る場合があります。その場合は本製品を機器から外して充電を中止してください。機器が操作に応答しない場合には、機器のバッテリーパックを一度外して付け直すと警告が消え、元の状態に戻ります。
- 充電時間・通話時間は機器や充電・通話の状況によって異なります。
- 本製品を使用中に万が一、携帯電話・オーディオプレーヤー本体の故障やメモリ内容の消去、またはバッテリーパックの破損等が発生した場合、または車両の不具合が発生した場合、当社では一切その責任・保証等は負いかねますのであらかじめご了承ください。



注意

下記については、「人が障害を負う可能性が想定される場合や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

下記は、「行ってはいけない内容」を示しています。

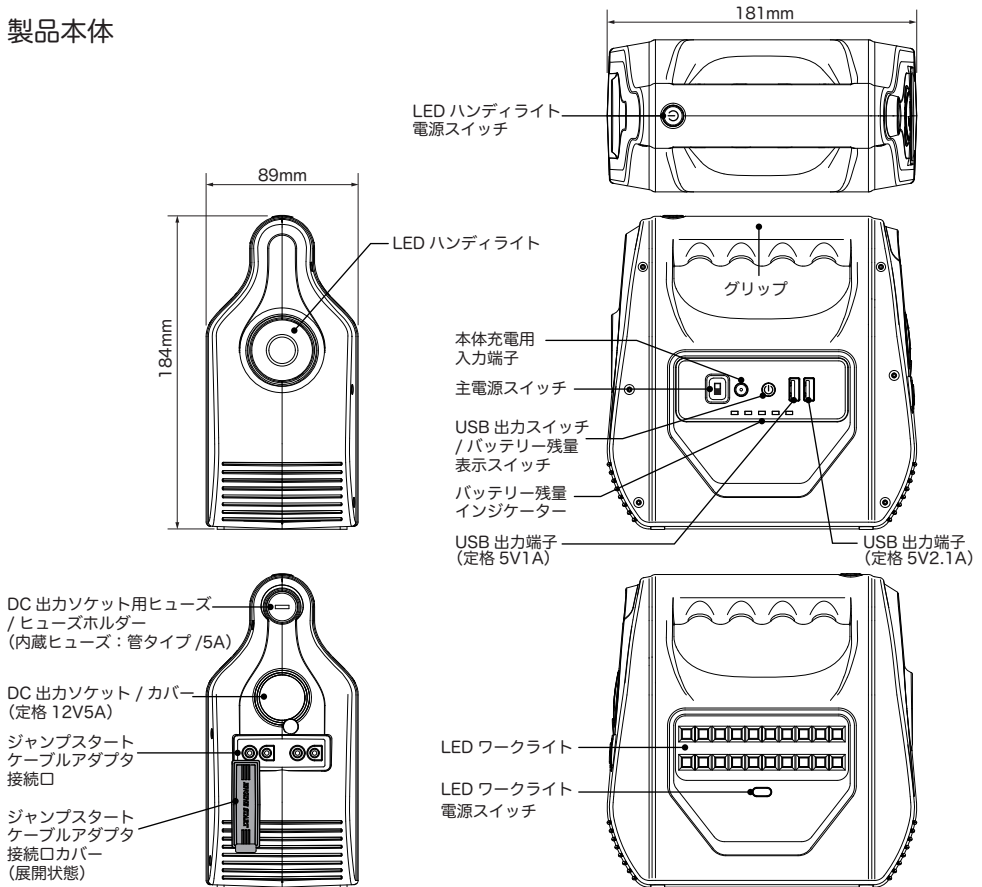
- DC12V/DC24V 鉛バッテリー搭載の自動車およびバイク用の機器(ジャンプスターター)です。他のバッテリーや、この取扱説明書に記載されている目的以外でのご使用は行わないでください。
- 本製品を車載バッテリーに接続した状態で、3秒以上セルモーターを回さないでください。
- 本製品をバッグの中などに入れたまま使用・保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱機器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置はしないでください。変形、故障の原因となったり、内部の温度があがり、火災の原因となる場合があります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房器具のそばなど）や氷点下になる車内などで保管、放置はしないでください。本製品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 車両のトランクなど振動・衝撃の多い場所には保管しないでください。やむをえず保管する場合には、付属のケースに収納し、クッションなどで振動・衝撃を与えないようにしてください。
- 高い磁気環境に近づけないでください。製品本体の損傷や動作不良の原因になります。
- 本製品を落下しやすい場所で使用したり、上に物を乗せたり布等をかぶせた状態で使用しないでください。落下や破損などによりけが・感電・発熱・発火のおそれがあります。
- LEDの光を直接見ないでください。また、人の目に向けての照射は行わないでください。
- 本製品を充電しながらジャンプスターターとして同時に使用しないでください。
- 本製品の付属品は、本製品以外には使用しないでください。

下記は、「必ず実行していただく内容」を示しています。

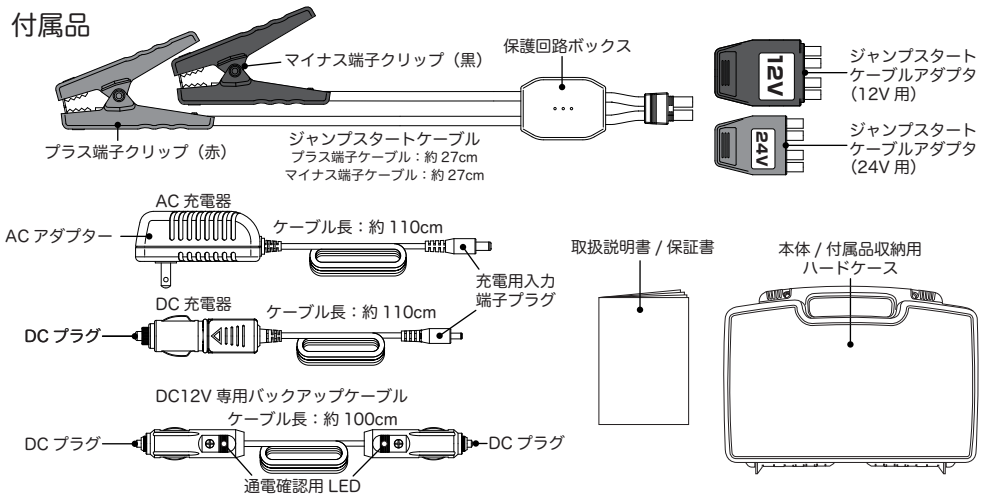
- 本製品を使用する際は、貴金属類（指輪・ネックレス・時計など）は外してください。
- ジャンプスターターは必ず満充電の状態で行ってください。
- 本製品のジャンプスタートケーブルを車載バッテリーに接続の際は、必ず車両バッテリーのプラス(+)とマイナス(-)を確かめて、車載バッテリー端子へジャンプスタートケーブルのプラス端子クリップ(赤)から先に取り付け、次にマイナス端子クリップ(黒)を確実に接続してください。
- 2回始動してもエンジンがかからない場合は使用を中止していただき、すみやかにジャンプスタートケーブルを車両から取り外してください。
- 使用後はジャンプスタートケーブルアダプタ接続口カバーやDC出力ソケットカバーを閉じてください。
- 使用後や保管の際はすべてのケーブルおよびコネクタを製品本体から取り外してください。
- 本製品は自然放電などによりご使用いただけない場合があります。バッテリー残量インジケーターをご確認いただき、ご使用前に改めて満充電されてからご使用ください。
- 本体充電用ケーブルやジャンプスタートケーブルは引っ張らずに、かならずUSB端子部分や、12V端子コネクタ部分を持って、製品本体からの抜き差しを行ってください。
- 充電する機器のバッテリーパックは必ず装着して充電してください。はずして充電した場合、機器が破損するおそれがあります。
- 充電する機器のバッテリーパックが古くなっていたり、故障している場合は充電できません。
- 充電する機器によっては充電中に、充電開始と終了を繰り返す場合があります。その場合は充電を続けても効果があがらないため、本製品を機器からはずして充電を中止してください。
- USB出力による充電終了後、製品本体と充電している機器との接続をすみやかに解除してください。
- コネクタ部に大きな力がかかると接触不良を起こしたり、端子が破損するおそれがありますので、コネクタやUSB端子等はまっすぐに抜き差ししてください。
- 本製品を充電する場合、結束バンド等を必ず外し、コードをのびた状態で充電してください。
- 使用環境温度が-10℃から40℃の範囲でご使用ください。
- お子様やペットなどの手の届かない場所での使用・保管を行ってください。事故やけが、感電の原因となります。
- 本製品を使用し、万が一機器の故障やデータ等の消失、バッテリーパックの破損等が発生した場合、当社では一切その責任保証は負いかねます。あらかじめご了承のうえ必ずデータ等をバックアップしてからご使用ください。
- 長期間使用されない場合は、定期的（1～3ヶ月毎）に充電を行ってください。

各部の名称

製品本体

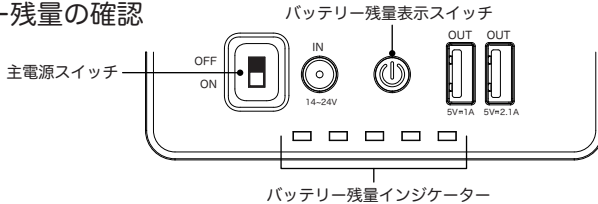


付属品



ご使用になる前に

バッテリー残量の確認



1. 主電源スイッチをスライドして ON の位置にあわせませす。
2. バッテリー残量表示スイッチを 1 回押します。
3. バッテリー残量インジケーターの点灯状態で、バッテリー残量を確認します。

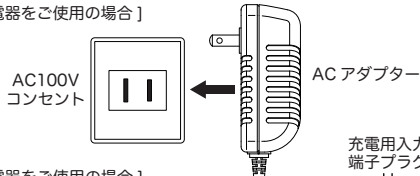
[バッテリー残量と LED 点灯状態の目安]

LED 5 個点灯：満充電 □ □ □ □ □	LED 4 個点灯：約 80% □ □ □ ■	LED 3 個点灯：約 60% □ □ ■	LED 2 個点灯：約 40% □ ■	LED 1 個点灯：約 20% ■
		赤 LED 点灯	赤 LED 点灯	赤 LED 点灯

※本体に各ケーブルやアダプタを接続していない状態でバッテリー残量の確認を行ってください。
 ※ジャンプスタートケーブルアダプタを接続した状態では、バッテリー残量の確認はできません。
 ※バッテリー残量が 20% (LED1 個) の場合は、必ず充電を行ってから各機能をご使用ください。

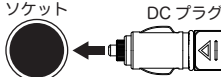
本体を充電する場合

[AC 充電器をご使用の場合]

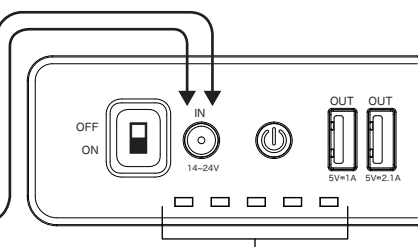


[DC 充電器をご使用の場合]

DC12V～DC24V
ソケット



本体充電用入力端子へ接続



1. 主電源スイッチをスライドして OFF の位置にあわせませす。
2. 充電を行う環境にあわせて、AC 充電器か DC 充電器を選びます。
3. 充電用入力端子プラグを本体充電用入力端子へ接続します。
4. AC 充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC100V コンセントへ接続します。
5. DC 充電器をご使用の場合は、車両のエンジンを始動後に DC プラグを DC12V～DC24VDC ソケットへ接続します。
6. 本体の充電が開始されます。充電中はバッテリー残量インジケーターの LED が左から右へ点滅を繰り返します。バッテリー残量が増えるとともに、バッテリー残量インジケーターが点滅から点灯に変わります。

[充電時間の目安 (バッテリー残量インジケーターが LED1 個点灯から充電開始の場合)]

AC 充電器をご使用の場合：約 9 時間

DC 充電器をご使用の場合：約 15 時間

※表示時間は当社測定による目安です。環境や充電に使用する車両・車載バッテリーおよび本製品の状態により異なります。
 7. バッテリー残量インジケーターにて満充電状態を確認します。(LED 5 個点灯)
 8. AC アダプター / DC プラグを外した後、充電用入力端子プラグを本体から外します。
 ※DC 充電器は 2A 以上の電流が流れた場合、DC プラグに内蔵されたヒューズが切れて通電されません。

ご注意

※充電直後は、製品本体が熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
 ※ジャンプスタート直後の製品本体の充電は行わないでください。本製品が十分に冷えた状態 (常温に約 1 時間放置後) になってから充電を行ってください。
 ※充電を開始後、1 時間以上経過しても充電ランプの点灯数が増えない場合は内部バッテリーおよび基板の不具合の可能性があります。すぐに充電を中止してください。
 ※AC 充電器をご使用の場合、充電完了後もそのまま放置していると内蔵バッテリー劣化の原因になります。充電開始から 10 時間を目安に、AC アダプターを AC100V コンセントから取り外し、充電を終了してください。
 ※キーを抜いても DC12V～DC24V ソケットの電源が切れない車では車載バッテリー上りの原因になりますので、DC12V～DC24V ソケットから DC プラグを抜いて充電を終了させてください。
 ※ご使用されない場合は必ず満充電にして保管してください。また、ご使用の無い場合でも、3 ヶ月毎に満充電を行ってください。
 ※本製品に付属している充電器以外では、絶対に本製品の充電は行わないでください。
 ※エンジン動作時の DC12V 車両では、高い数値の場合、約 14.5V 程度の電圧が DC ソケットより出力されています。DC 充電器を DC ソケットへ接続しても、車載バッテリーの状態や車種により、DC ソケットの出力電圧が 13.5V 以下の場合は充電を行えない場合があります。
 ※AC 充電器や DC 充電器のケーブルを束ねた状態で使用しないでください。

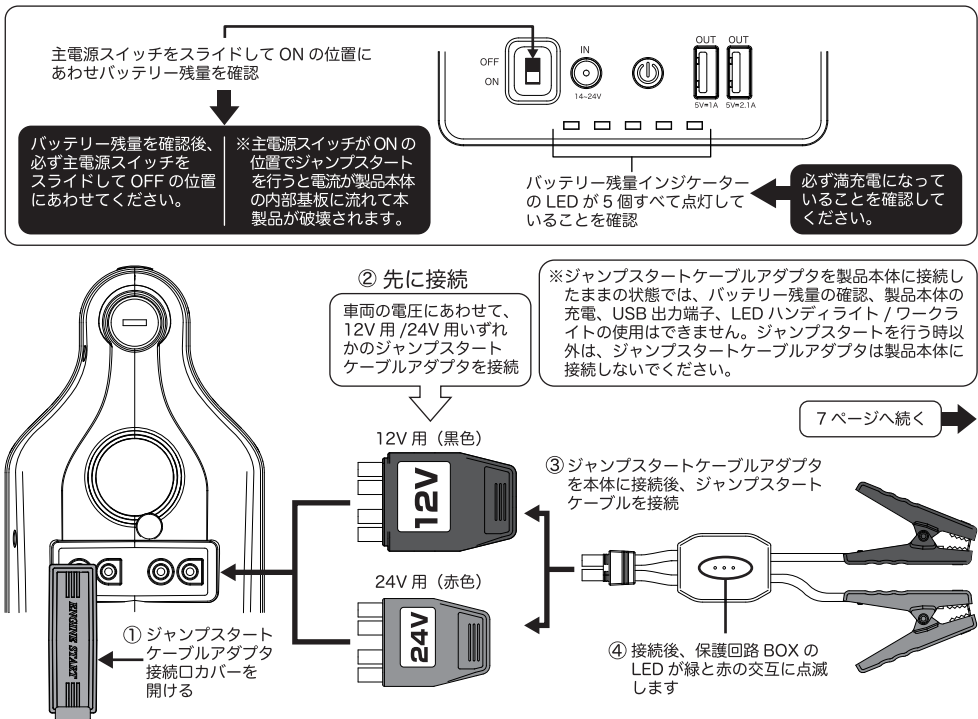
ジャンプスタートを行う場合

ご使用前の確認

1. 製品本体に接続されているすべてのアダプタ・コネクタ・ケーブルをはずします。
※アダプタ・コネクタ・ケーブルを接続した状態では、本体のバッテリー残量を確認することができません。
2. 製品本体の主電源スイッチをスライドして ON の位置にあわせませす。
3. 本体のバッテリー残量を確認し、バッテリー残量インジケータが満充電状態（LED5 個点灯）になっていることを確認してください。
※ジャンプスタートは必ず満充電の状態で行ってください。
4. 本体のバッテリー残量を確認後、主電源スイッチをスライドして OFF の位置にあわせませす。
5. ジャンプスタートを行う車両の電圧が 12V か 24V かを確認してください。
- ※各種保護回路はありますが、誤って接続・使用すると故障・破損・火災の原因になります。
6. 車載バッテリーの端子部分が錆びていたり汚れている場合は、錆びや汚れを落としてから、ジャンプスターターをご使用ください。
7. あらかじめ車両の電源や、ヘッドライト・エアコンなどの電装品が OFF になっていることを確認してください。
8. 車載バッテリーの端子部分がカバーで覆われている場合、あらかじめカバーを取り外してください。

ご使用方法

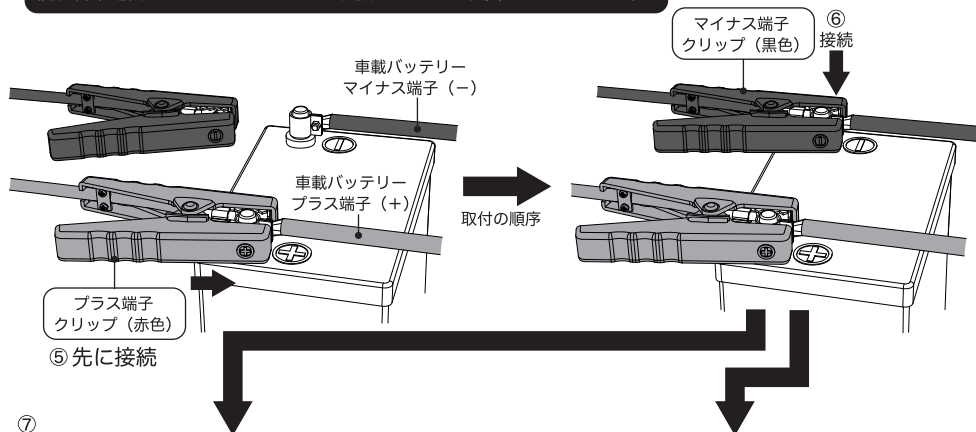
1. 製品本体のジャンプスタートケーブルアダプタ接続口カバーを開けます。
※無理にひっぱるとちぎれる場合がありますのでご注意ください。
2. ジャンプスタートを行う車両の電圧にあわせて、12V 用 / 24V 用 いずれかのジャンプスタートケーブルアダプタを、製品本体のジャンプスタートケーブル接続口へ接続します。
3. ジャンプスタートケーブルをジャンプスタートケーブルアダプタに接続します。
4. 保護回路ボックス内の LED がスタート（緑）・エラー（赤）の交互に点滅していることを確認します。
5. ジャンプスタートケーブルのプラス端子クリップ（赤色）を車載バッテリープラス端子（+）に接続します。
6. ジャンプスタートケーブルのマイナス端子クリップ（黒色）を車載バッテリーマイナス端子（-）に接続します。
7. 「ピー」とブザーが鳴り、保護回路ボックスの緑 LED が点灯（ジャンプスタートの準備が完了した状態）していることを確認してください。
8. マイナス端子クリップ（黒色）を接続後 12V 車では 30 秒以内、24V 車では 60 秒以内にセルスターターを回してエンジンを始動させます。
- ※車載バッテリーへ端子クリップを接続し、保護回路ボックス内の緑 LED が点灯状態になってから 12V 車では 30 秒、24V 車では 60 秒が経過すると赤 / 緑 LED が両方点灯後に交互に点滅し、ブザーが鳴り（赤 / 緑 LED 両点灯→赤 / 緑 LED 交互点滅→ブザー音→緑 LED 点灯）を繰り返します。
9. エンジン始動後すぐに、ジャンプスタートケーブルアダプタを製品本体のジャンプスタートケーブル接続口から取り外します。
- ※エンジン始動直後は逆流防止保護が働き、保護回路ボックス内 LED のスタート（緑）・エラー（赤）が点灯し警告音が鳴ります。
10. ジャンプスタートケーブルをジャンプスタートケーブルアダプタから取り外します。
11. ジャンプスタートケーブルのマイナス端子クリップ（黒色）を車載バッテリーマイナス端子（-）から取り外します。
12. ジャンプスタートケーブルのプラス端子クリップ（赤色）を車載バッテリープラス端子（+）から取り外します。
13. 製品本体のジャンプスタートケーブルアダプタ接続口カバーを閉めます。



ジャンプスタートを行う場合（続き）

ジャンプスターターケーブルアダプタへジャンプスタートケーブルを接続後、端子クリップを車載バッテリーへ接続します。接続はプラス端子クリップから先に接続し、次にマイナス端子クリップを接続します。

端子クリップは確実に車載バッテリー端子へ接続してください。接続が不完全な場合、接触不良や脱落によるジャンプスタートの失敗やショート・火災の恐れがあります。



⑦ 「ピー」とブザーが鳴り、保護回路ボックスの緑 LED が点灯している状態になると、ジャンプスタートの準備が完了した状態です。

⑧ セルスターターを回して、エンジンを始動させます。
※ジャンプスタートの準備が完了した状態になってから、一定の時間が経過すると赤 / 緑 LED が両方点灯後に交互に点滅し、ブザーが鳴り（赤 / 緑 LED 両点灯→赤 / 緑 LED 交互点滅→ブザー音→緑 LED 点灯）を繰り返します。

◎一定の時間の目安

○12V 車へ接続の場合 → 約 30 秒ごと

○24V 車へ接続の場合 → 約 60 秒ごと

※車載バッテリー接続後、12V 車へ接続の場合は約 30 秒ごと、24V 車へ接続の場合は約 60 秒ごとに、一時的にジャンプスタートの待機状態となり、ジャンプスタートが行えません。ブザー音が鳴った後、すみやかにジャンプスタートを行ってください。

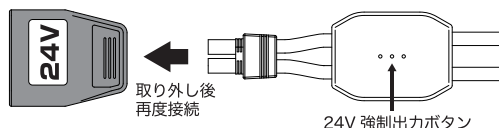
△注意

- セルスターターは 1 回の始動で 3 秒以上回さないでください。
- エンジンが始動しない場合、1 分以上の間隔をあけてから再度ジャンプスタートを行ってください。
- 2 回セルスターターを回してもエンジンが始動しない場合は車両側に問題がある可能性があります。ただちにジャンプスタートは中止してください。

保護回路ボックスの赤 / 緑 LED が交互点滅したままか、赤 LED が点滅しブザー音が鳴った場合、保護機能が働いている状態です。（車載バッテリー電圧検知 / ショート保護 / 逆接続保護）ジャンプスタートケーブルをアダプタから取り外し、接続した端子クリップを車載バッテリーから取り外してください。取り外し後、12V 車 / 24V 車の確認、ショート / 逆接続を行っていないかの確認後、再度手順通りに接続を行ってください。

〔24V 強制出力ボタンの使用方法について〕

車載バッテリー電圧検知機能が作動している場合、24V 車のみ強制出力によるジャンプスタートが可能です。（24V 車で車載バッテリー電圧が約 15V 以下の場合のみ）



1. ジャンプスタートケーブルをアダプタから取り外し、端子クリップを車載バッテリーから取り外し後、アダプタを製品本体へ再度接続します。
2. プラス端子クリップのみを車載バッテリーに接続します。
3. 保護回路ボックスの 24V 強制出力ボタンを、1 秒以上押します。（つまようじ等の先が細い物を使用してください。）
4. 「ピー」とブザーが鳴り、保護回路ボックスの緑 LED が点灯状態になり、ジャンプスタートの準備が完了します。
5. マイナス端子クリップを車載バッテリーに接続します。

24V 強制出力ボタンについて

24V 車の車載バッテリー電圧が約 15V 以下の場合のみ、保護回路 BOX の強制出力ボタンを 1 秒以上押してください。車載バッテリー電圧感知機能が OFF となり、強制的に 24V 出力が行われジャンプスタートが可能となります。

△注意

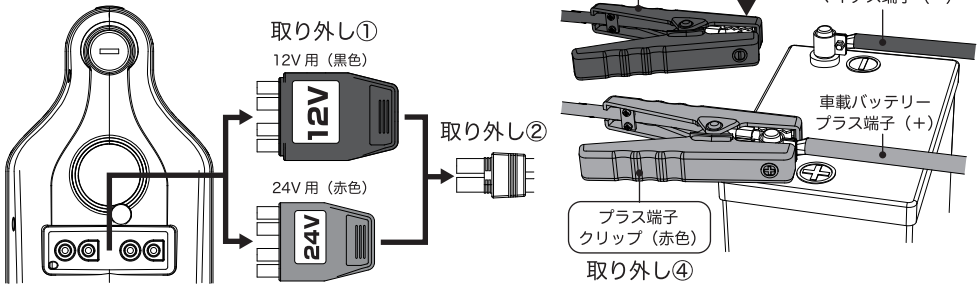
24V 強制出力ボタンを押した場合、保護機能が OFF となります。特に車載バッテリーへの逆接続や、端子クリップ同士の接触（ショート）を行った場合、感電・発熱・破損・発火の恐れがあります。取り扱いには十分ご注意ください。逆接続やショートは絶対に行わないでください。また、エンジン始動後はすみやかに製品本体に接続しているジャンプスタートケーブルアダプタ以降を、すべて取り外してください。

ジャンプスタートケーブルの取り外し

エンジン始動直後は、逆流防止保護が作動し保護回路 BOX の赤 LED が点灯しブザー音が鳴ります。製品本体に接続しているジャンプスタートケーブルアダプタ以降を、すみやかにすべて取り外してください。

※取り外しは、取り外し①→②→③→④の順番で行ってください。

ジャンプスタート直後の製品本体の充電は行わないでください。本製品が十分に冷えた状態（約 1 時間後）になってから充電を行ってください。



保護機能について

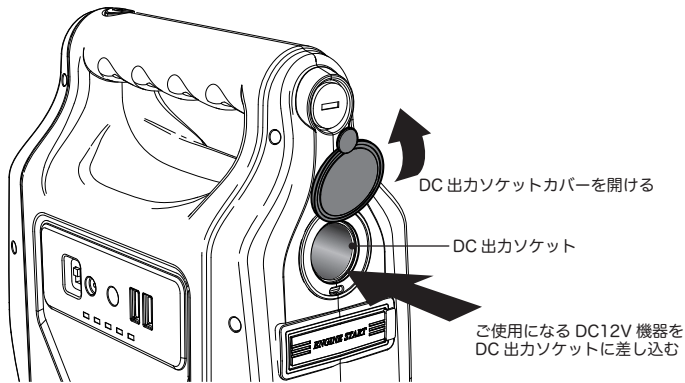
不測の事態に備えて、製品本体およびジャンプスタートケーブルに保護機能を搭載しています。保護機能の作動状態については以下をご確認ください。

保護機能名	保護回路 BOX の LED 発光状態	ブザー音	保護機能の詳細
リチウムバッテリー過放電過充電保護	赤 LED が点灯 ↓ 5 秒後に赤 / 緑 LED が交互点滅 ↓ 繰り返し	無し	製品本体に内蔵されているリチウムバッテリーが著しく放電した場合、または電圧が高過ぎる場合、出力をストップします。 ●12V 用ジャンプスタートケーブルアダプタ接続時 →製品本体からの出力電圧が約 11V 以下、または 13V 以上 ●24V 用ジャンプスタートケーブルアダプタ接続時 →製品本体からの出力電圧が約 22V 以下、または 29V 以上
車載バッテリー電圧検知機能	赤 / 緑 LED が交互点滅	無し	ジャンプスタートケーブルアダプタの電圧表記と、接続した車両の電圧が異なる場合 (12V と 24V を誤って接続) に作動します。 ○12V 用アダプタ接続時に 24V 車へ接続した場合 ○24V 用アダプタ接続時に 12V 車へ接続した場合 ※12V 用アダプタ接続時に、15V 以下まで電圧が下がっている 24V 車へ接続した場合、緑 LED が点灯してジャンプスタートの準備が完了した状態になりますが、ジャンプスタートはできません。
逆流保護	赤 / 緑 LED が点灯	ピピピピ	ジャンプスタートが成功し、エンジンが始動した後、ジャンプスタートケーブルから製品本体へ電流が流れないように入力をストップします。
逆接続保護	赤 LED が点滅	ピーー	端子クリップ接続の際、車載バッテリーのプラス端子とマイナス端子へケーブルを逆に接続した際に作動し、出力をストップします。
ショート保護	赤 LED が点滅	ピーー	端子クリップ同士が接触 (ショート) した際に作動し、出力をストップします。
過熱保護	赤 LED が点滅	ピーピー ピーー	保護回路ケーブルが発熱した際に作動し、出力をストップします。 ※本体内部のリチウムバッテリーにも温度保護機能があります。 ※本体内部の温度保護機能が作動した場合、保護回路 BOX の動作はありません。
過負荷保護	赤 LED が点滅	ピーー	製品本体からの出力電流がピーク電流の定格値を超えた場合に作動します。

保護機能をリセットする場合

クリップをバッテリーから外すことで保護機能が解除され、再び緑 LED と赤 LED が交互に点滅する状態になります。保護回路が作動した原因をご確認いただいた後、再度車載バッテリーとの接続を行ってください。

DC 出力ソケットを使用する場合

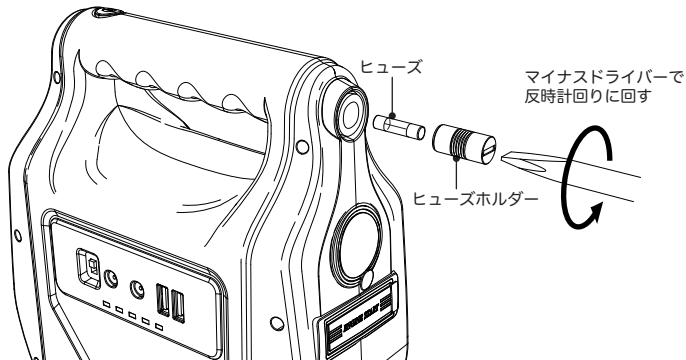


1. 製品本体の DC 出力ソケットカバーを開けます。
 2. ご使用になる DC12V 機器を DC 出力ソケットに差し込みます。
 3. ご使用後は DC12V 機器を DC 出力ソケットから抜き取ります。
 4. 製品本体の DC 出力ソケットカバーを閉めます。
 5. DC12V 機器をご使用中のバッテリー残量インジケータ確認は、製品本体の主電源スイッチを ON にして、バッテリー残量表示スイッチを押すことで確認が可能です。
- ※DC 出力ソケットは製品本体の主電源スイッチの ON/OFF にかかわらず、常時通電となります。

ご注意

- ※DC 出力ソケットには保護機能がありません。ご使用の際は DC12V 機器の仕様をよく確認してください。
- ※シガーライターのご使用はできませんので、シガーライターの差し込みは行わないでください。
- ※ご使用後は必ず DC 出力ソケットカバーを閉めてください。ホコリやゴミが混入してショート、故障の原因となります。
- ※DC 出力ソケットに DC/AC インバーターを接続し、精密機器や医療器具等を使用することは絶対に行わないでください。
- ※DC 出力ソケット内に金属片や指など、DC プラグ以外のものは入れないでください。感電やショート、故障の原因となります。
- ※ご使用前に必ず接続する DC12V 機器の仕様をご確認いただき、定格電流が 5A 以下であることをご確認ください。

DC 出力ソケット用ヒューズの確認



定格電流が 5A 以上の製品をご使用になった場合、不測の状況で 5A 以上の出力が DC 出力ソケットから行われた場合等、製品本体の DC 出力ソケット用ヒューズが切れて通電されなくなります。以下の手順で内蔵ヒューズをご確認ください。

1. 製品本体の DC 出力ソケット用ヒューズホルダーを、マイナスドライバーで反時計回りに回します。
2. ヒューズカバーを取り外し、内蔵されているヒューズを確認します。
3. ヒューズに問題がない場合、ヒューズホルダーにヒューズをセットし、再度製品本体へ戻します。
4. マイナスドライバーでヒューズホルダーを時計回りにまわします。
5. ヒューズが切れている場合は、以下の原因による可能性があります。
 - ・定格電流が 5A 以上の製品をご使用になった場合
 - ・不測の状況で 5A 以上の出力が DC 出力ソケットから行われた場合
 - ・接続された DC12V 機器、または製品本体に問題がある場合

※原因の特定が行えない状態で新品のヒューズへ交換することは、製品本体および接続する DC12V 機器の故障につながる可能性がありますのでおやめください。ヒューズが切れた場合は弊社までご連絡ください。

バックアップケーブルを使用する場合

バックアップケーブルとは

車載バッテリーを交換する際、車内への電気の供給がなくなることによって電装品の設定がリセットされないよう、本製品の DC 出力ソケットから 12V の電気を車内へ供給し、メモリー保持のバックアップをするために使用するケーブルです。

ご使用前の確認

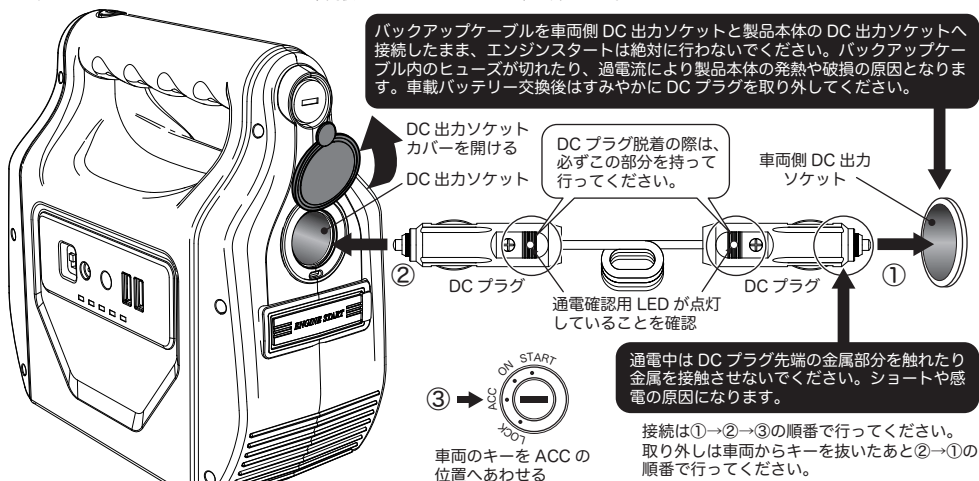
1. ご使用になる車両が DC12V 車であることを確認します。

※24V 車には使用できません。絶対に使用しないでください。

2. 車両のエンジンを停止し、車両のキーを抜いて 5 分以上放置します。スマートキー採用の車両の場合、車両側 DC 出力ソケットから電気が出力されていない状態であることをご確認ください。
 3. 車両のヘッドライト・エアコン・室内灯などの電装品がすべて OFF になっていることを確認してください。
 4. 製品本体のバッテリー残量を確認し、バッテリー残量インジケータが満充電状態(LED5 個点灯)であることを確認してください。
- ※バックアップ作業は必ず満充電の状態で行ってください。

ご使用方法

1. 片方のバックアップケーブル DC プラグを車両側 DC 出力ソケットへ差し込みます。
※この時 DC プラグの通電確認用 LED が発光している場合は、車両側 DC 出力ソケットから電気が出力されている状態ですので、車両のキーが抜かれているかを再度ご確認ください。DC プラグの通電確認用 LED が発光しない状態にしてください。
 2. 製品本体の DC 出力ソケットカバーを開け、バックアップケーブル DC プラグの片方を製品本体の DC 出力ソケットに差し込みます。この時バックアップケーブルの 2 個ある DC プラグの通電確認用 LED が両方点灯していることを確認してください。
 3. 車両へキーを挿入し、ACC の位置へあわせませう。
- ※スマートキー採用の車両については、各車両の操作方法に準じて行ってください。
4. 車載バッテリーマイナス端子 (－) を取り外します。
 5. 車載バッテリープラス端子 (+) を取り外します。
 6. 車載バッテリーの交換等の作業を行います。
 7. 車載バッテリープラス端子 (+) を取り付けます。
 8. 車載バッテリーマイナス端子 (－) を取り付けます。
 9. 車両からキーを抜きます。スマートキー採用の車両の場合、車両側 DC 出力ソケットから電気が出力されない状態にします。
 10. バックアップケーブル DC プラグを製品本体の DC 出力ソケットから取り外し、製品本体の DC 出力ソケットカバーを閉めます。
 11. バックアップケーブル DC プラグを車両側 DC 出力ソケットから取り外します。



ご注意

- ※車種や車内の電気配線によっては、車両側 DC 出力ソケットからバックアップができない場合や、メモリー保持ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※バックアップ作業中にブレーキを踏んだり、ヘッドライトや室内灯を点灯したり、キーを回して ACC 以上にしないでください。
- ※バックアップケーブルを、車両側 DC 出力ソケットと製品本体の DC 出力ソケットへ接続したまま、エンジンスタートは絶対に行わないでください。バックアップケーブル内のヒューズが切れたり、過電流により製品本体の発熱や破損の原因となります。
- ※バックアップケーブルの接続は必ず電気の出力されていない状態の車両側 DC 出力ソケットから先に差し込んでください。電気が出力された状態の車両側 DC 出力ソケットへバックアップケーブルを差し込み、車両のマイナスアース部分（ボディ金属部分）と DC プラグ先端（プラス端子）が接触した場合、ショートしますので絶対におやめください。
- ※通電中は DC プラグ先端の金属部分を触れたり、金属を接触させないでください。ショートや感電の原因になります。
- ※車載バッテリーが過放電している場合、バックアップ作業を行っても車両メモリーが消去する場合があります。
- ※バックアップ作業中の使用電流が大きい場合、バックアップケーブルが高温になる場合があります。
- ※バックアップ作業中の使用電流は最大で 3A となります。
- ※車種によってはバックアップ作業が行えない場合があります。また、過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリーが消去する場合があります。車両の整備資料などで事前にご確認ください。
- ※バックアップケーブルへ 3A 以上の電流が流れた場合、バックアップケーブル DC プラグ内のヒューズが切れて通電されなくなります。ヒューズが切れている場合、DC プラグの通電確認用 LED が点灯しません。

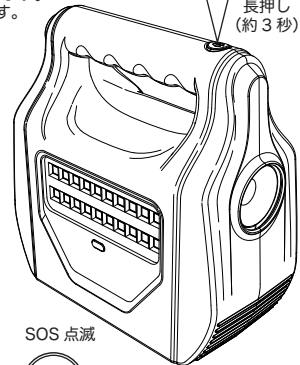
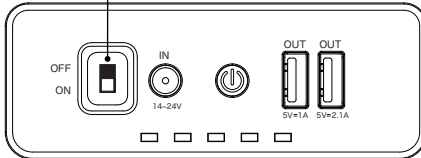
LED ハンディライトを使用する場合

1. 製品本体の主電源スイッチをスライドして ON の位置にあわせませす。
2. 製品本体の LED ハンディライト電源スイッチを長押しします (約 3 秒)。
3. スイッチを押すごとに発光モードの切り替えが可能です。
4. 任意のパターンで LED が点いている時に電源スイッチを長押し (約 3 秒) すると消灯します。
5. 再度電源スイッチを長押し (約 3 秒) すると、点灯状態から点灯パターンが始まります。
6. LED 消灯後、製品本体の主電源スイッチをスライドして OFF の位置にあわせませす。

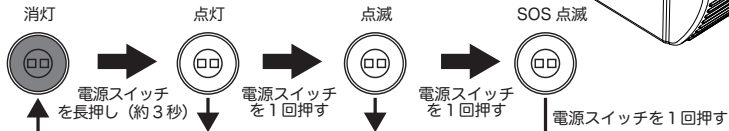
LED ハンディライト
電源スイッチ

長押し
(約 3 秒)

主電源スイッチ



LED ハンディライト
点灯パターン

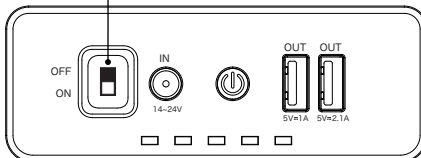


任意のパターンで LED が点いている時に電源スイッチを長押し (約 3 秒) すると消灯します。
消灯後、再度点灯させた際、発光パターンは点灯状態からとなります。

LED ワークライトを使用する場合

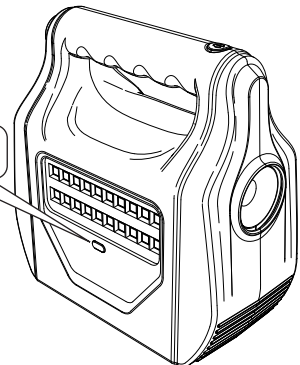
1. 製品本体の主電源スイッチをスライドして ON の位置にあわせませす。
2. 製品本体の LED ワークライト電源スイッチを長押しします (約 3 秒)。
3. スイッチを押すごとに発光モードの切り替えが可能です。
4. 任意のパターンで LED が点いている時に電源スイッチを長押し (約 3 秒) すると消灯します。
5. 再度電源スイッチを長押し (約 3 秒) すると、点灯状態から点灯パターンが始まります。
6. LED 消灯後、製品本体の主電源スイッチをスライドして OFF の位置にあわせませす。

主電源スイッチ

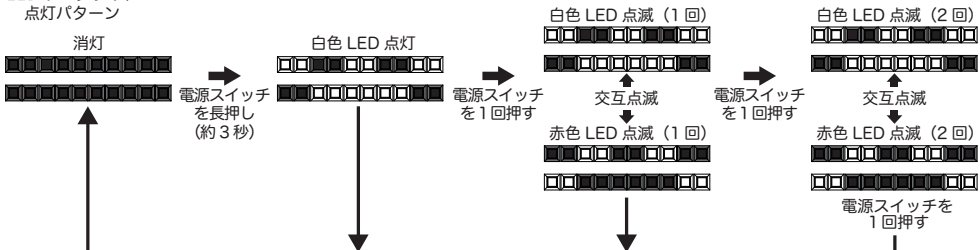


LED ワークライト
電源スイッチ

長押し
(約 3 秒)

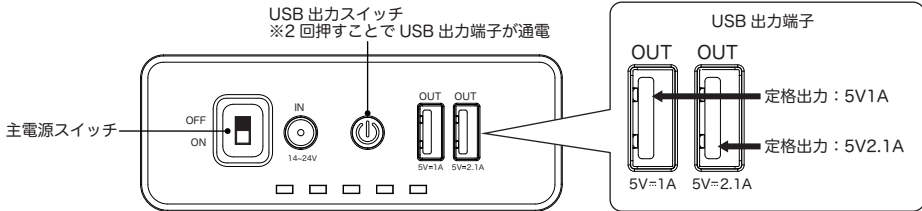


LED ワークライト
点灯パターン



任意のパターンで LED が点いている時に電源スイッチを長押し (約 3 秒) すると消灯します。
消灯後、再度点灯させた際、発光パターンは白色 LED 点灯状態からとなります。

USB 出力端子を使用する場合



1. 製品本体の主電源スイッチをスライドして ON の位置にあわせませう。
2. ご使用になる USB 機器の定格仕様にあわせて、定格 5V1A か定格 5V2.1A どちらかの USB 出力端子へ USB ケーブルを接続してください。
- ※必ずご使用になる USB 機器の定格仕様にあわせて接続を行ってください。
3. 製品本体の USB 出力スイッチを 2 回押すことで、USB 出力端子が通電します。
- ※USB 出力スイッチを 1 回押した場合は、バッテリー残量インジケータの点灯のみとなります。
4. USB 機器のご使用を終了後、USB ケーブルを USB 出力端子から取り外し、製品本体の主電源スイッチをスライドして OFF の位置にあわせませう。
- ※USB 出力端子は 1 分間無負荷状態が続くと自動で出力をシャットダウンします。その際は再度 USB 出力スイッチを 2 回押して通電させてください。

ご注意

- ※本製品に USB ケーブルは付属していません。
- ※USB 機器を充電する際、製品本体と USB 機器との接続は必ず純正ケーブルをご使用ください。
- ※製品本体の USB 出力端子の定格電流と、USB 機器の定格電流を必ず確認してから接続を行ってください。
- ※USB 出力端子の 5V2.1A 側と 5V1A 側の同時使用はできません。
- ※USB 出力端子は、それぞれ定格電流を超える USB 機器を接続した場合、製品本体の保護回路が働き USB 出力端子の通電は OFF になります。
- ※バッテリー残量インジケータが LED1 個点灯でご使用を続けた場合、残量がなくなった時点で LED が消灯し、USB 出力端子の通電は OFF になります。
- ※一部の USB 機器についてはご使用・充電できない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※本製品は、すべての USB 機器・電子機器に対して充電または使用を保証するものではありません。
- ※USB 機器・電子機器の接続は、作業を行う方の責任にて行なってください。
- ※リチウムイオン電池の特性上、定期的に本製品の USB 出力端子からモバイルバッテリーとしてご使用いただくことを推奨します。

ご質問について (Q&A)

質問	回答
本体満充電後、何回ジャンプスタートが可能ですか？	ジャンプスタートを連続して複数回行うことはおやめください。ジャンプスタートを 1 回行った後は、本製品が十分に冷えた状態 (約 1 時間後) になってから再度充電を行ってください。
本体のバッテリー残量インジケータが 4 個以下でもジャンプスタートは可能ですか？	ジャンプスタートは必ず満充電で行ってください。
製品本体でのスマートフォンの満充電は何回程度可能ですか？	製品本体が満充電の場合、iPhone7 で約 6 回程度の満充電が可能です。(機種や使用状況により異なります)
製品本体の各機能を同時に使用することは可能ですか？	各機能の同時使用はできません。
製品本体を充電しながら使用することは可能ですか？	製品本体を充電しながら使用することはできません。発熱や故障の原因となりますので絶対におやめください。
USB 出力端子の 2 口同時使用は可能ですか？	USB 出力端子の 5V2.1A 側と 5V1A 側の同時使用はできません。
製品本体の電源を OFF にする方法は？	製品本体の主電源スイッチを OFF にあわせることで USB 出力端子 / LED ハンディライト / LED ワークライトの電源が OFF となります。ジャンプスタートケーブルアダプタ接続口 / DC 出力ソケットは常時通電となります。
LED ハンディライトは何時間の発光が可能ですか？	製品本体が満充電の場合、点灯モードで約 24 時間です。
LED ワークライトは何時間の発光が可能ですか？	製品本体が満充電の場合、点灯モードで約 24 時間です。
満充電で放置できるのはどの程度の期間ですか？	最長で約 3 ヶ月を目安として 1 ヶ月に 1 度は満充電を行ってください。
付属品のみを販売することは可能ですか？	付属品のみを販売は行っておりません。
付属品を他の市販品で代用することは可能ですか？	付属品を他の市販品で代用することはできません。故障の原因となりますので絶対におやめください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
製品本体の内蔵バッテリーが充電されない。	AC 充電器 / DC 充電器と充電入力端子プラグが正しく接続されていない可能性があります。	AC 充電器 / DC 充電器と AC100V コンセント / DC12V～DC24V ソケット、製品本体の充電入力端子と充電入力端子プラグの接続を確認いただきガタつきや緩みがないか確認してください。
	AC100V コンセント / DC12V～DC24V ソケットから電源が供給されていない、または適正電圧ではない可能性があります。	出力元のブレーカーや自動車の DC ソケットをご確認いただき、充電に必要な電力が出力されているかをご確認ください。
	DC12V～DC24V ソケットでの充電の場合、DC 充電器内部のヒューズが切れている可能性があります。	ご使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
	本体内部に不具合がある可能性があります。	ご使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
製品本体の内蔵バッテリーが満充電にならない。	過放電による内蔵バッテリーの劣化・不具合の可能性があります。	ご使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
	本体内部に不具合がある可能性があります。	ご使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。
車載バッテリーに端子クリップを接続しても保護回路 BOX の緑 LED が点灯（ジャンプスタートの準備が完了した状態）せず、出力しない。	製品本体の電圧と、車載バッテリーの電圧差が小さい可能性があります。（1V 程度） 12V 車使用の場合：車載バッテリーが 11.5V 程度 24V 車使用の場合：車載バッテリーが 23.5V 程度	特例としてヘッドライトを点灯させる等を行い、車載バッテリーの電圧を下げてください。製品本体の電圧が低い場合は、満充電を行ってください。
	ジャンプスタートケーブルの端子クリップが正しく接続されていない、または外れている可能性があります。	ジャンプスタートケーブルの端子クリップを再度接続しなおしてください。
USB 出力されない。	極端な低温環境で製品本体を保管しており、内部温度が低下している可能性があります。	製品本体を保管温度（0℃～40℃）の場所へ移動し、内部温度の低下が解消した後に再度ご使用ください。
	主電源スイッチが OFF の位置になっている可能性があります。	主電源スイッチを ON の位置にしてください。
	主電源スイッチを ON の位置にした後 USB 出力スイッチを押していない可能性があります。	USB 出力スイッチを 2 回押してください。
	内蔵バッテリーの残量が少ない可能性があります。	バッテリー残量インジケーターにて残量をご確認いただきバッテリーを充電してください。
LED ハンディライト / ワークライトが点灯しない。	主電源スイッチが OFF の位置になっている可能性があります。	主電源スイッチを ON の位置にしてください。
	内蔵バッテリーの残量が少ない可能性があります。	バッテリー残量インジケーターにて残量をご確認いただきバッテリーを充電してください。
製品本体がすぐに発熱する、またはおおいがする。	内蔵バッテリーに不具合がある可能性があります。	ご使用を中止し、販売店または弊社までご連絡ください。

製品仕様

バッテリータイプ		リチウムイオンバッテリー	
バッテリー容量		3000mAh (3.7V)	
出力	ジャンプ スターター	DC 12V	500A (始動電流)
			600A (ピーク電流)
		DC 24V	400A (始動電流)
			500A (ピーク電流)
	USB 出力 端子	DC5V/2.1A (定格)	
		DC5V/1A (定格)	
	DC プラグ	DC12V/5A (定格)	
入力		DC14V～24V/2A	
ジャンプスタート 対象車の目安	ガソリン車 (12V)	全般	
	ディーゼル車 (24V)	1300cc 以下	
バックアップケーブル長		約 100cm	

本体充電時間 (環境温度約 25℃の場合)		AC 充電器	約 9 時間
		DC 充電器	約 15 時間
充電可能回数		約 200 回	
ジャンプスタート ケーブル長	プラス端子クリップ側		約 27cm
	マイナス端子クリップ側		約 17cm
充電用ケーブル長	AC 充電ケーブル		約 110cm
	DC 充電ケーブル		約 110cm
使用時環境温度		-10℃～40℃	
充電時環境温度		0℃～40℃	
保管時環境 温度 / 湿度		0℃～40℃ 70%rh 以下 (ただし結露のないこと)	
本体寸法		181mm(W)×184mm(H)×89mm(D)	
本体重量		1260g	

保証とアフターサービス

- 保証書は、保証期間中の修理の際に必要なになりますので、大切に保管ください。
- 必ず、お買い上げのレシートをご添付願います。レシートの提示がない場合は無償修理対象外となります。
- 保証期間はお買い上げから1年となります。
- 保証期間内に限り、以下の保証規定の記載に従い修理いたします。

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態(取扱説明書や、本体や付属品への貼り付けラベルなどの注意書に従った使用状態)で、万が一故障した場合には、当社指定の方法で無償修理をさせていただきます。当社の判断により製品交換をさせていただくことがありますのであらかじめご了承ください。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、保証書とレシートを商品に添えて、お買い上げいただいた販売店までお持ちください。
- 保証期間内でも次の様な場合は有償修理となります。
 - 1、保証書とレシート(必ず購入日が確認できるもの)をご提示いただけない場合
 - 2、所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 3、使用上の誤り、他の機種から受けた障害または不平等な修理や改造による故障および損傷
 - 4、お買い上げ後の取付場所の移送、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 5、火災、地震、風水害、落雷、その他天変地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷
 - 6、一般家庭用以外(例えば業務用)での使用による故障および損傷
 - 7、消耗または摩耗した部品の交換
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害については当社はその責任を負わないものとします。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

保証書		保証期間/お買い上げ日より 1年	
品番		KD-161	
品名		ジャンプスターター 30000mAh	
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話番号		
故障内容記入欄			
レシート貼付け欄 必ず、お買い上げ店舗のレシートをご添付願います。 レシートの提示がない場合は無償修理対象外となります。			
※レシートは必ず保管してください。万が一の製品不良による返品の際に必要となります。		株式会社 カシムラ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-9-28 ホームページアドレス http://www.kashimura.com JAAMA 全国自動車用品工業会会員	

Kashimura

※記載の会社名/製品名は各社の商標または登録商標です。

※iPhoneは、アイホン株式会社の商標または登録商標です。

※iPhone,iPod,iPod nano,iPod shuffle,iPod classic,iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple,inc.の商標です。

※本製品のデザイン、仕様等は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※本製品は日本のカシムラの企画・設計により中国で生産されたものです。

ENGINEERED BY KASHIMURA,JAPAN

株式 **カシムラ**
会社

〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-9-28

ホームページアドレス <http://www.kashimura.com>

JAAAM 全国自動車用品工業会会員